

将冠岳

令和3年度 佐世保市立皆瀬小学校
学校だより 第18号 R3.10.12
校長 松瀬 伸吾

「ふるさと」「笑顔」「挑戦」

みな いーぜ
かいぜ!

令和3年度後期始業式 校長講話

後期始業式を行いました。以下に、校長講話を掲載します。校長講話の後に2年生と6年生が、後期に頑張りたいことなどを発表しました。「かけ算の勉強を頑張りたい。」「委員会活動を頑張ってお手本になる。」など、それぞれの挑戦、決意があふれていて感心しました。

新しいお友達1名を迎え、全校児童264名でのスタートです。

今日は後期の始業式です。10月8日に終業式を行い、前期の反省をしました。今日は、その反省を生かして、笑顔で新しいスタートを切ってください。「ふるさと」「笑顔」「挑戦」についてお話をします。

1つ目は「ふるさと」についてです。皆瀬小学校では、挨拶を大事にしています。笑顔の挨拶を、学校だけでなく、地域、おうちでも続けてください。皆さんの挨拶で、ふるさと「皆瀬」を元気にしましょう。また、相手の気持ちを考えた、優しい言葉遣いも大事にしてください。皆瀬小学校には「なかよし合言葉20」や「コミュニケーションレベル表」があります。これらを使って、お友達や地域のおとなの人と上手なコミュニケーションがとれるようになりましょう。

2つ目は「笑顔」です。みんなが笑顔でいられるように、学習や生活のきまりを守り、お友達と仲良くしましょう。中でも特に大事にしてほしいきまりは、命を守るきまりです。きまりを守る人は、きまりに守られます。きまりを守って、何よりも大切な命を守りましょう。併せて、皆瀬小学校では、学習のきまりを守ることも大切にしています。授業の時は、学習用具の準備、姿勢、話の聞き方、発表の仕方など、「学びの約束7」を守りましょう。お勉強がどんどん楽しくなっていきます。

3つ目は「挑戦」です。めあてを持って、へこたれずに、最後までがんばることです。皆さんは、毎日新しいことを学んでいます。初めてのことは、ドキドキするけど、わくわくもします。

先日、愛媛県出身の真鍋叔郎さんが、世界の学問や平和のために優れた仕事をした人に贈られる、世界一有名な賞の一つ、ノーベル賞を受けられました。この真鍋博士が研究を進める力の基になったのは「好奇心」だとおっしゃっています。「好奇心」とは、「新しいことや珍しいことに興味を持つ心」のことです。

新しいお勉強をすることや新しいお友達をつくることを楽しんでください。今、6年生が毎朝、校庭の掃除をしてくれています。これも挑戦の一つです。ぜひ「挑戦」を続けて、たくましく生き抜く力を身に付けましょう。また、「挑戦」に「失敗」は付き物です。周りの人も、「挑戦」を認め、「失敗」に優しい人になりましょう。

学級で、担任の先生と一緒に後期のめあてを確かめましょう。新型コロナウイルスに負けず、新しい気持ちで、明るく元気にスタートを切ってください。

